

日本医療検査科学会医療情報委員会
令和5年度第1回委員会 議事録

1. 日時：2023年4月15日（土）14:30～15:50
2. 場所：場所：東北大学医学部 星陵会館（ZoomによるWeb併用）
3. 出席者（敬称略）：片岡、長原、中島、瀬戸山、下坂、湯地、田中、古賀、増田、
佐藤、松下、萩原、油野、康前理事長（オブザーバー）
欠席者（敬称略）：前田
4. 配布資料
資料1：前回議事録
資料2：医療情報委員会委員名簿
資料3：2023年度活動計画
5. 議事
 - 1) 前回議事録（2022年度第3回委員会）の確認
 - ・資料1に基づき、片岡委員長より前回議事の報告がなされた。
 - ・前回議事に関して、委員からの発言はなかった。
 - 2) 報告事項
 - (1) 真鍋史朗先生のご逝去について
 - ・片岡委員長より、当委員会委員である真鍋史朗先生（大阪大学医学部附属病院）が2023年3月26日ご逝去されたことが報告された。
 - (2) 2023年度医療情報委員会委員について
 - ・片岡委員長より、和田隆志前委員長、山田修委員が2022年度をもって医療情報委員会を退任されたことが報告された（資料2）。今後、新たに委員を推薦等で招請していく必要があり、適任者がいれば適宜事務局まで連絡を行うこととなった。
 - (3) 2023年度活動計画について（
 - ・資料3に基づき、片岡委員長より、2023年度活動計画が報告された。
 - 3) 審議事項
 - (1) 第5回医療情報委員会技術セミナーの講師および司会について
前回の臨時Web会議の内容（資料3）に基づき、技術セミナーについて以下のような意見が出された。
 - ・片岡委員長より「MID-NET 製造販売後調査の事例」についてはアドバイザーである松下先生のお力添えにより、第一三共株式会社松本卓之先生に依頼を行い、内諾を得

ている点、今後 Web 面会を行う予定であることが報告された。

- ・瀬戸山委員より「失敗例の紹介」とは具体的に内容で発表を行えばよいかと質問が出された。それに対し、片岡委員長より失敗の紹介というよりも、chatGPT などの AI 技術を用いて海外のメタアナリシス等を解説する方が聴講者にとって有益な内容となるのではないかと返答がなされた。
- ・古賀委員より、「既存データから何ができるか」に関して、オープンデータ等を従来の統計的な解析や phyton を用いた解析法の解説等についての講演であれば可能であるとの申し出があり、古賀委員が講演②の演者として決定した。
- ・中島委員より講演「医療ビッグデータ利活用の目的について (PHR/EHR)」のみがデータの一次利用についてであり、その他の講演は二次利用に関する内容となっているので、その講演に関しては電子カルテに精通している医療情報関連の演者が良いのではないかと意見が出された。それに対して片岡委員長より、基盤整備が進み標準化等が進んだ上での利活用を意図しており、どちらかといえば二次利用についての講演になると考えていると返答があった。
- ・中島委員より「何を目的として PHR/EHR などの基盤整備を進めているのか」という点に関しては、一次利用を目的として整備を進めており、将来的な 2 次利用も見据えているとコメントがなされた。それに対して片岡委員長より、一次利用の講演をセミナーの最初に行うことで、より聴講者も理解しやすいのではないかと発言があり、二次利用も見据えた基盤整備の状況について中島委員が講演を行うこととなった。
- ・田中委員より自施設では検査技師が EHR を閲覧できないため、EHR が閲覧利用できる施設がどの程度あるのか教えて頂きたい。また、それに関連して、聴講者にも EHR/PHR に関する初歩を理解していない可能性があるのではないかとコメントがあった。これに関して片岡委員長、中島委員より、ほぼ全ての病院で閲覧できると考えていたが、確かに市中病院等の実態に関してはわからず、調査の必要性があるとの意見が出された。調査の方法については今後の検討課題であるが、技術セミナー後に google form 等を用いてアンケート調査を実施するのも一つの手であるかもしれないと片岡委員長よりコメントがあった。調査の項目に関しては、メール審議等で意見を収集することとなった。
- ・長原副委員長より、技術セミナーについては、現場で実際に参考になる内容であれば多くの聴講者に参加頂けるのではないかと、また、田中委員の意見については、中小の市中病院ではあり得る話であり、実態を把握した上で、正しい検査結果を得るためには EHR を利用し患者のバックグラウンドを知る必要があるということを当委員会・本学会としては大事なのではないかとコメントがあった。
- ・4/16 の春季セミナー時に瀬戸山委員と事務局油野の 2 名で、瀬戸山委員の技術セミナーの内容について意見交換を行った。そのなかで、講演⑤では、講演中にライブで臨床検査データを chatGPT 等の生成系 AI 技術を用いて検索し、Excel 等への落とし込み及び解析するなどのデモンストレーションを行う方向で準備を進めていくことと

なった。

上記の意見、審議を踏まえて第5回医療情報委員会技術セミナーは以下の内容で行うことが決定した。

メインタイトル：医療ビッグデータの利活用事例の紹介と今後の課題（仮）

司会：片岡委員長、長原副委員長

講演① 政府が進めている一次利用目的としての医療情報基盤整備と二次利用への活用

講師：中島委員

講演② 医療ビッグデータ活用の課題

講師：湯地委員

講演③ 既存のデータからどのような解析ができるか？

講師：古賀委員

講演④ MID-NET 製造販売後調査の事例

講師：松本卓之先生（第一三共株式会社）

講演⑤ 医療ビッグデータの研究事例を生成系 AI で調べてみたら。。

講師：瀬戸山委員

日時：10月8日（日）13:00～14:50

※1 演題：20分程度、質疑応答：10分を想定

(2) その他

片岡委員長よりその他の審議事項について発言を求めたが、委員からの追加の審議事項はなかった。

4) その他

(1) 次回（第2回委員会）開催予定について

日時：10月6日（金）14:30～15:50で開催予定

場所：パシフィコ横浜（現地とZoom会議の両方で開催予定）

文責：油野